

## 令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 親和会	代表者	理事長 山崎 幸男	法人・ 事業所 の特徴	「人権尊重」、「利用者生活の質の向上」、「地域貢献」、「職員の資質・専門性の向上」、「経営基盤の確立」の確立を基に、利用者との心を通じ合う明るい施設、人間関係の温かい施設、利用者の尊重・尊厳が保たれ、自立・社会参加のできる施設を目指すことを基本理念としている。
事業所名	小規模多機能センター 絆の里 やすらぎ	管理者	田畑広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	人	人	人	1人	人	人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士のコミュニケーションを活性化し円滑な連携を図る。</li> <li>チームワークを発揮し最適なサービスが提供できるよう心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な関係を築きなんでも言い合える関係性を築けるよう協力し合った。</li> <li>利用者ファーストを意識し満足していただけるサービスが提供されるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的にもう少し積極性があって良いと思う。</li> <li>自己成長の場として研修会へ参加し意見の充実につなげていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の強みや改善点を認識し、自らの成長を実感できるよう積極的に行動する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな清掃を心がけ、ご利用者の立場に立って環境整備をおこなう。</li> <li>整備や清掃する事項を一覧にしてチェック化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理整頓を心がけ、転倒防止や安全な動線確保に留意した。室内の消毒、換気や温度・湿度の管理も職員全員で取り組んだ。</li> <li>整備事項の一覧は年末の大掃除の際に活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への気配りだけでなく、内外もきちんと清掃されていると思う。</li> <li>いつ訪問しても温かく迎えてくれ、会議の際にはテーブルに花があり嬉しい気持ちになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策のための清潔保持、様々なリスクを想定した取り組みを継続し、習慣化につなげる。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティの場を作り人と人との繋がりを増やす。</li> <li>これまではやってこなかった交流や新しい場にも参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体との交流の機会を作ることができたが、まだ多くはなく今後も情報を積極的に取り入れていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者が多く、介護をする世代が介護する立場になったとき自分事として取らない例がある。知ってもらふ意味では慰問や交流会なども積極的に参加して良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との密着な関りを意識し理解を高めることで「地域の困りごと」にも注目する。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者が地域の中で孤立することのないよう、地域とのつながり作りの手助けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活している地区での位置付けや関係性をすべて把握できているわけではないが、ご近所付き合いのみならず家族関係も良好に継続できるような関わり方を目指した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町で行っている福祉祭りでは、健康な高齢者が参加している。今度参加してみてもどうか。</li> <li>・感染症対策で慎重となり大変と思うが、今後も地域との交流を続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での「居場所作り」のお手伝いをする。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な意見がいただけるよう課題の工夫をする。</li> <li>・会議の中に事例検討会の日程を組み入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会を実施し、様々な角度からの多様な意見をいただくことができた。</li> <li>・毎回貴重な意見を多くいただき、有意義な会議の時間となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源について一緒に学びたい。わからないことがたくさんあるので色々勉強したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、意見交換を活発におこないより良いサービスの提供につなげる。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP（業務継続計画・災害などが万が一起こった際にも業務を中断させないようにするための準備をするとともに、もし業務が中断したときにもできるだけ早急に、優先すべき業務から復旧していくための手順や体制などのあらかじめ検討しておく計画）に沿った訓練・研修をおこない内容を周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPに沿った訓練は行うことができず、実際に事業所で感染症が発生した際も計画に沿った体制をとることが困難で、新たな課題ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高台にあるからといって安心せず、これからも利用者を守っていただきたい。</li> <li>・次年度も防災・訓練について聞かせてほしい。委員へは防災計画や内容を会議にて説明や資料があると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの内容を再確認したうえで訓練に参加し、個々の意識を高める。</li> </ul>